

九州ITS利活用研究会

QPITS / Practice group of ITS in Kyushu

第9回 会合資料

2012年8月7日

グループ: 3 進捗報告

リーダー: 九電ビジネスソリューションズ(株) 下津 利裕

■ H24 秋の総務省 実証実験(案)について

- 利活用基盤のインターフェースは、現行を使用…… 1頁
- デジタルサイネージで実施する内容…………… 2頁
- スマートフォンで実施する内容…………… 3頁
- スケジュール…………… 4頁

■ 国総研 実証実験(案) 及び 将来(素案)について

- 国総研 実証実験イメージ図…………… 6頁
- 「九州地域ITS利活用情報基盤」のシステム概要(案) 10頁
- QPITS 将来イメージ図…………… 11頁

【進捗状況】

東京大学 石川先生(7/10 QPITS会合で東北観光博を紹介)を下津・白石 2名で訪問し、観光庁と進めている「東北観光博」の情報基盤について伺って参りましたので報告します

■日時 7月31日(火) 13:10~14:40(90分)

■場所 東京大学 総合研究棟305号室(弥生キャンパス:農学部内)

■訪問者 東京大学 大学院 情報学環 特任教授 石川雄章 様

国立情報学研究所 コンテンツ科学研究系 准教授 相原健郎 様

<目的>

東北観光博で構築している共通基盤をQPITSに提供頂けないか。

・共通基盤の標準化(基盤構築の考え方)

・コスト削減(納期短縮)

* 観光庁が進める共通基盤の思想で構築することで、センサーやコンテンツ等の提供企業は全国展開が可能

<回答>

・現在運用中の「東北観光博 共通基盤」は、完成品でない。

<http://www.visitjapan-tohoku.org/>

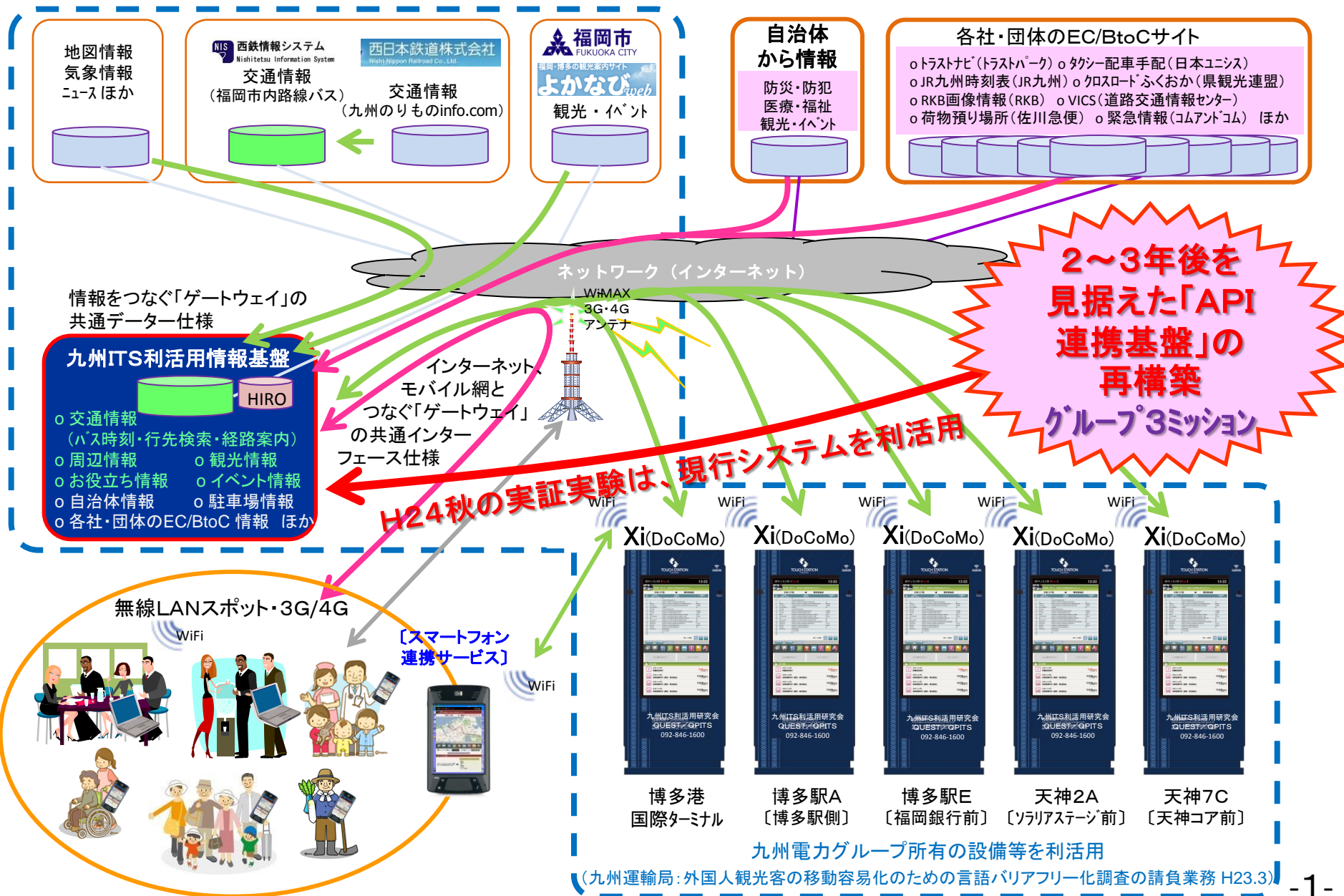
* 現基盤をブラッシュアップの方向で検討は頂きたい。⇒情報共通基盤システム(案)11頁
利用等の詳細については、石川・相原先生と今後調整が必要。

<今後の進め方>

・WGOメンバーを中心に進め方/方針を協議

・方針決定後に、WG3メンバーで具体的(技術的)な構築を検討

九州ITS利活用研究会 H24秋～福岡市内『実証実験』構築イメージ図(案)



九州ITS利活用研究会 H24秋~ 福岡市内『実証実験』デジタルサイネージ(案)

先進的な取組み(バージョン1:デジタルサイネージ版)

- ★情報(各アプリ:コンテンツ)をAPI連携し横串からの利活用
- ★人の移動・利用情報 及び 各センサー情報の利活用



市内5ヶ所に設置している「タッチ機能付きデジタルサイネージ」の画面や機能について利用者の使用状況を集計する。(日時・画面・機能ほか・外国人含めた利用状況を集計)

西鉄(九州のりものinfo.com連携)
交通情報(時刻・接近情報ほか)

福岡市(“よかなび”連携)
観光・遊ぶ・飲食・買う・泊まる

広告ビジネス
スポンサー(当面は実証実験の目的など)

QPITSアプリの案内
新規アプリ(コンテンツ)の案内など



Wi-Fiスポット
無線LAN環境の利用

福岡市内(イベント情報)
福岡市からの情報ほか

周辺情報・天気・ニュースほか
日々の生活情報

各社・団体のEC/BtoCサイト
利用者目線のサービス(コンテンツ)提供

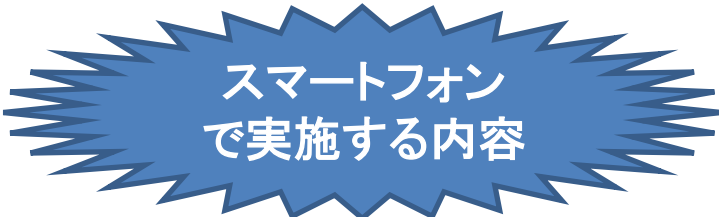
〔凡例〕

現サービス: 計画中のサービス:

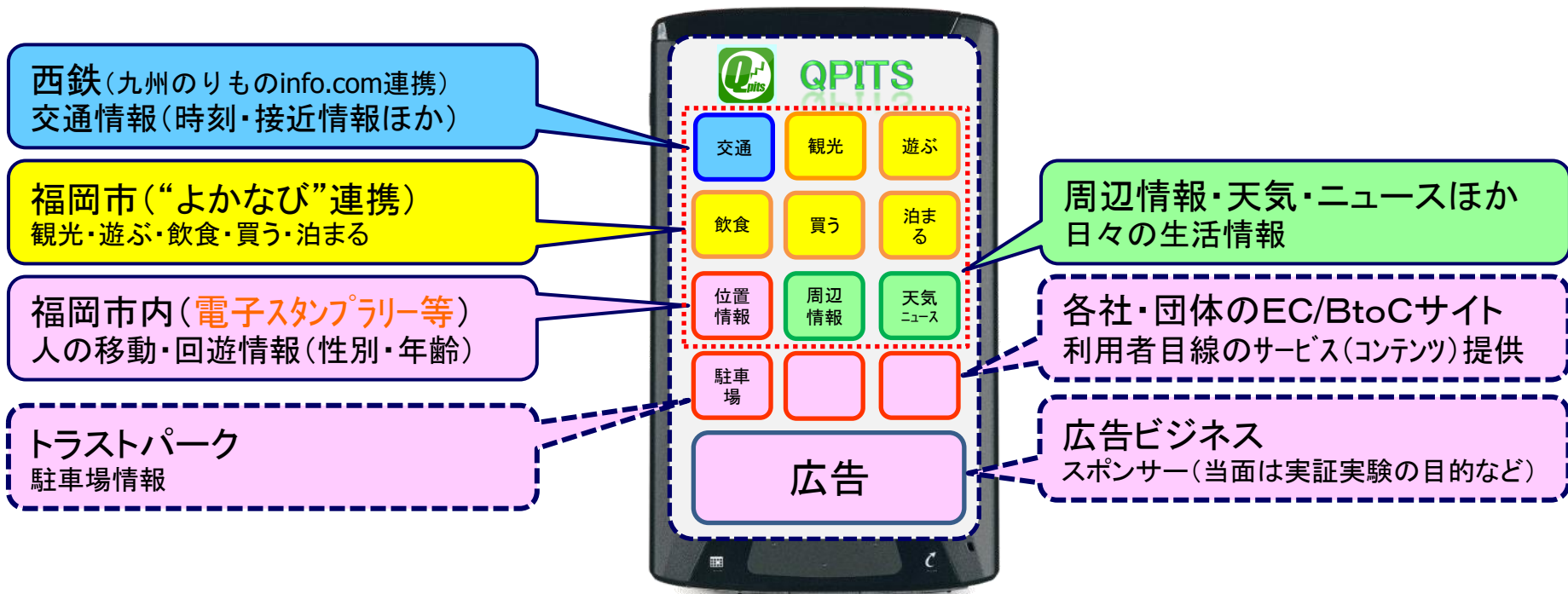
※デジタルサイネージの利用促進に向けた新たなサービス(コンテンツ)の提供

先進的な取組み(バージョン1:スマートフォン版)

- ★情報(各アプリ:コンテンツ)をAPI連携し横串からの利活用
- ★人の移動・利用情報 及び 各センサー情報の利活用



『QPITSアプリ』を新規に開設(iOS/Android)し、各種サービスの利用状況について集約する。また、GPS機能付き「電子スタンプラリー等」により、人の移動・回遊情報を集約する。さらに、音声等による検索機能(HIRO)を付加し、利便性の向上を検証する。



※『QPITSアプリ』の利用者(会員)に対し、電子スタンプラリーを利用する事による特典(販促品やクーポン等)を設け増員を図る。

九州ITS利活用研究会 H24秋~ 福岡市内『実証実験』スケジュール(案)

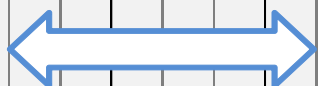
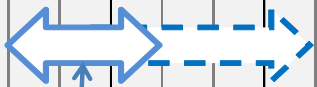
2012.8.7

項目	H24年度															H25年度		H26年度		備考																
	7			8			9			10			11			12			1			2			3			上期	下期	上期	下期					
	初旬	中旬	下旬	初旬	中旬	下旬	初旬	中旬	下旬	初旬	中旬	下旬	初旬	中旬	下旬	初旬	中旬	下旬	初旬		中旬	下旬	初旬	中旬	下旬	初旬	中旬					下旬				
総務 省 実証 実験	実証実験の基本コンセプト (目的・実施内容)決定 (報告イメージ整理)															<div style="position: absolute; top: 20%; left: 50%; transform: translate(-50%, -50%); font-size: 2em; color: red; font-weight: bold;">次ページ拡大</div>																			費用負担 検討	
	具体的な実施体制 (スキーム)検討 協力企業、役割分担決定																																			開発着手
	実証実験の動作検証 (具体的なデータ収集方法 など仮説検証)																																			
	実証実験開始(約3ヵ月間) (役割分担に基づく進捗管理)																																			
	報告書作成 (役割分担別に報告書整理)																																			
	報告「スマートモビリティアジア 2012@福岡」発表・対応																																			
	懸案・課題の対策整理 (役割別に整理)																																			
	次年度以降の計画策定 (H25年度 継続申請・予算 化)																																			
国 総研	提案書(企画)作成 ・具体的な実施内容整理 ・実証実験内容・時期・費用															見直し		見直し																		
	新利活用基盤の仕様整備(API連携基盤)																																			
	H25年度計画策定																																			
実証 実験	実施体制・役割分担整理															見直し		見直し																		
	実証実験・報告書作成																																			
具体的な事業化(ビジネス化) 検討																																				
方向性検討(組織・規約・ほか)																																				
方針決定																																				
事業化(ビジネス化)																																				

九州ITS利活用研究会 H24秋～福岡市内『実証実験』スケジュール(案)

2012.8.7

項目		H24年度																										
		7			8			9			10			11			12			1			2			3		
		初旬	中旬	下旬	初旬	中旬	下旬	初旬	中旬	下旬	初旬	中旬	下旬	初旬	中旬	下旬	初旬	中旬	下旬	初旬	中旬	下旬	初旬	中旬	下旬	初旬	中旬	下旬
総務省実証実験	1	実証実験の基本コンセプト(目的・実施内容)決定(報告イメージ整理)																										
	2	具体的な実施体制(スキーム)検討 協力企業、役割分担決定																										
	3	実証実験の動作検証(具体的なデータ収集方法など仮説検証)																										
	4	実証実験開始(約3カ月間)(役割分担に基づく進捗管理)																										
	5	報告書作成(役割分担別に報告書整理)																										
	6	報告「スマートモビリティアジア2012@福岡」発表・対応																										
	7	懸案・課題の対策整理(役割別に整理)																										
	8	次年度以降の計画策定(H25年度 継続申請・予算化)																										



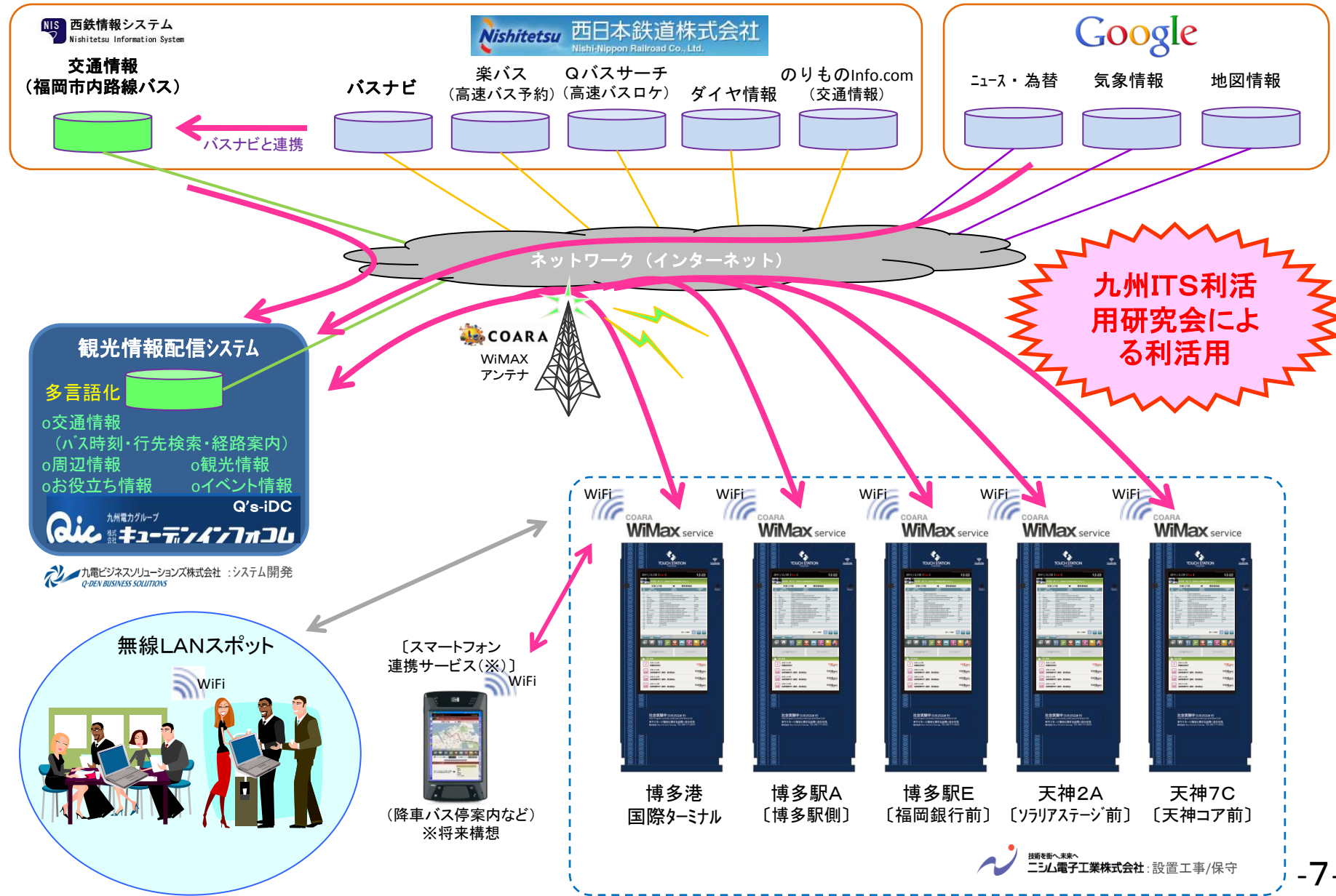
九州ITS利活用研究会 国総研様向け「福岡市 実証実験」構築イメージ図(案)

★人の日常生活(暮らす・働く・学ぶ・動くなど)に密着したICTの利活用
★人の動き(動線:スマホ/ICカードを利用)及びセンサー等に関する情報収集・分析 } ビジネスモデル

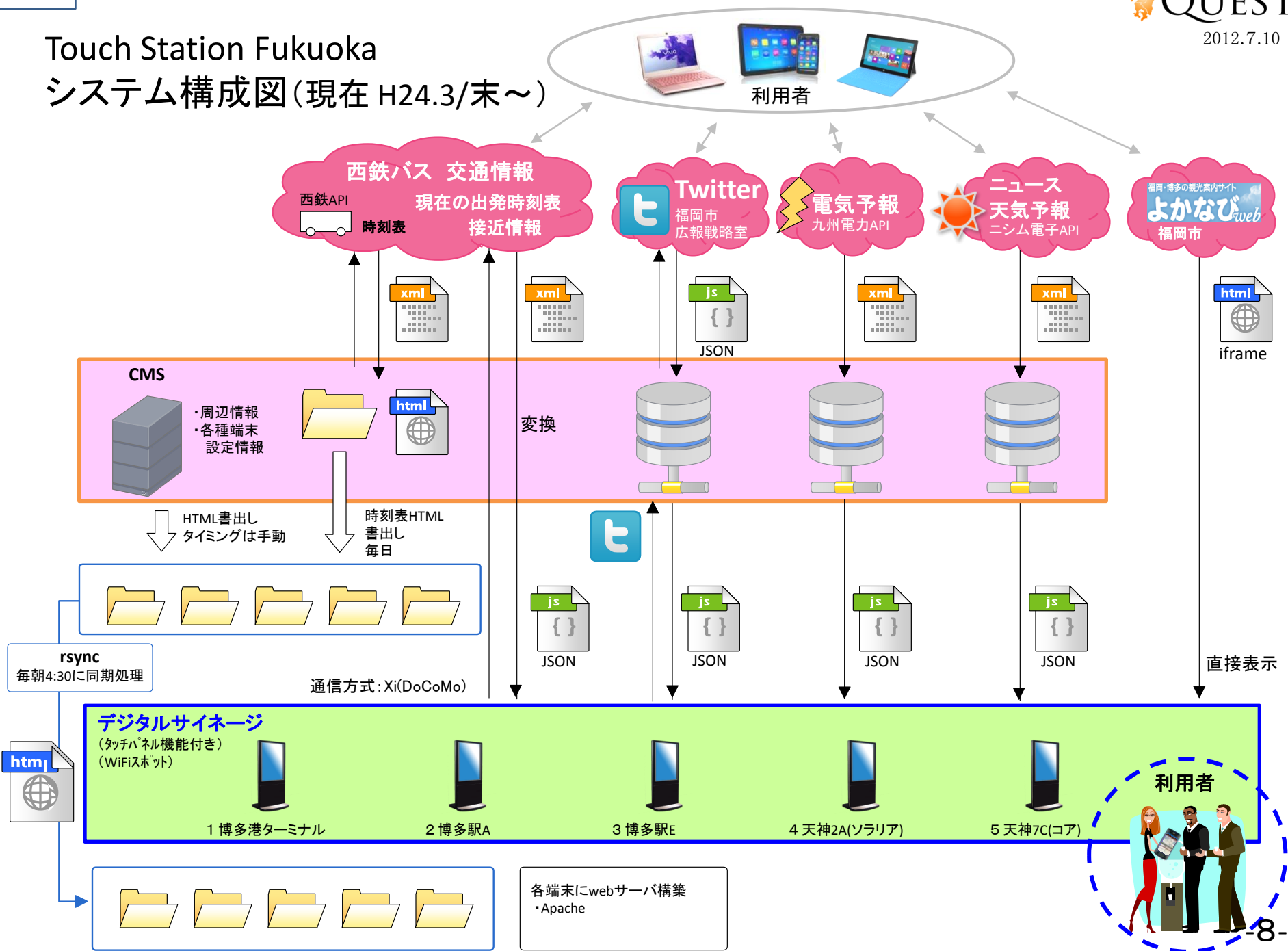


九州運輸局の公募案件 外国人旅行者向け言語バリアフリー化調査業務

システム構成図〔H21年年度(H22/1-3)実証実験〕



Touch Station Fukuoka システム構成図(現在 H24.3/末~)



九州ITS利活用研究会 国総研様向け「福岡市 実証実験」構築イメージ図(案)

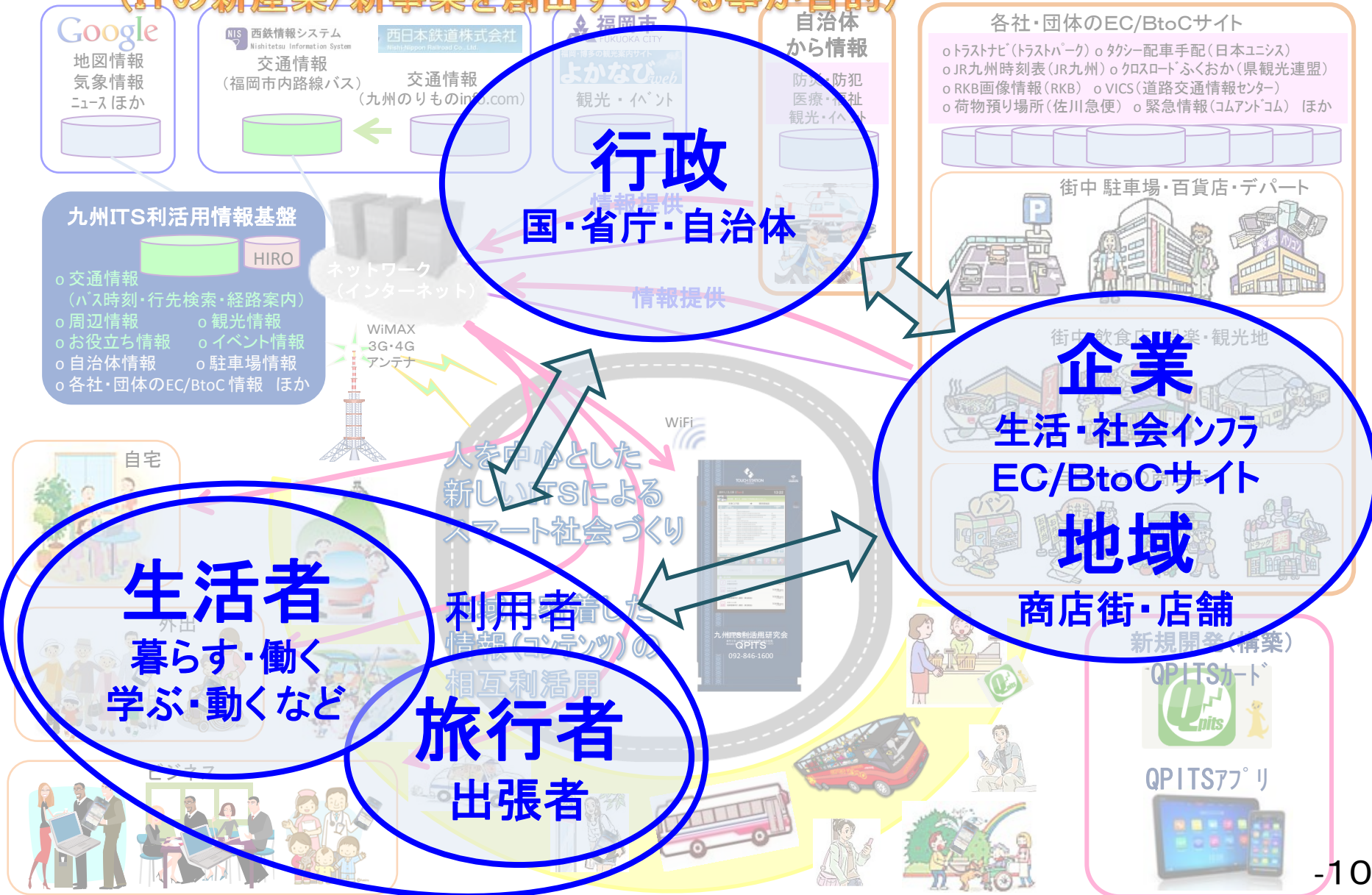
- ◆人を中心とした新しいITSによるスマート社会づくり
- ◆地域に密着した情報(コンテンツ)の相互利活用



【Gr:3ミッション】
 QPITSのコアとなる複数の企業・団体やデータセンタにまたがった利活用基盤の整備、技術の確立について担当する。
 ★情報(各アプリ:コンテンツ)をAPI連携し横串からの利活用
 ★人の移動・利用情報 及び 各センサー情報の利活用

九州ITS利活用研究会 国総研様向け「福岡市 実証実験」構築イメージ図(案)

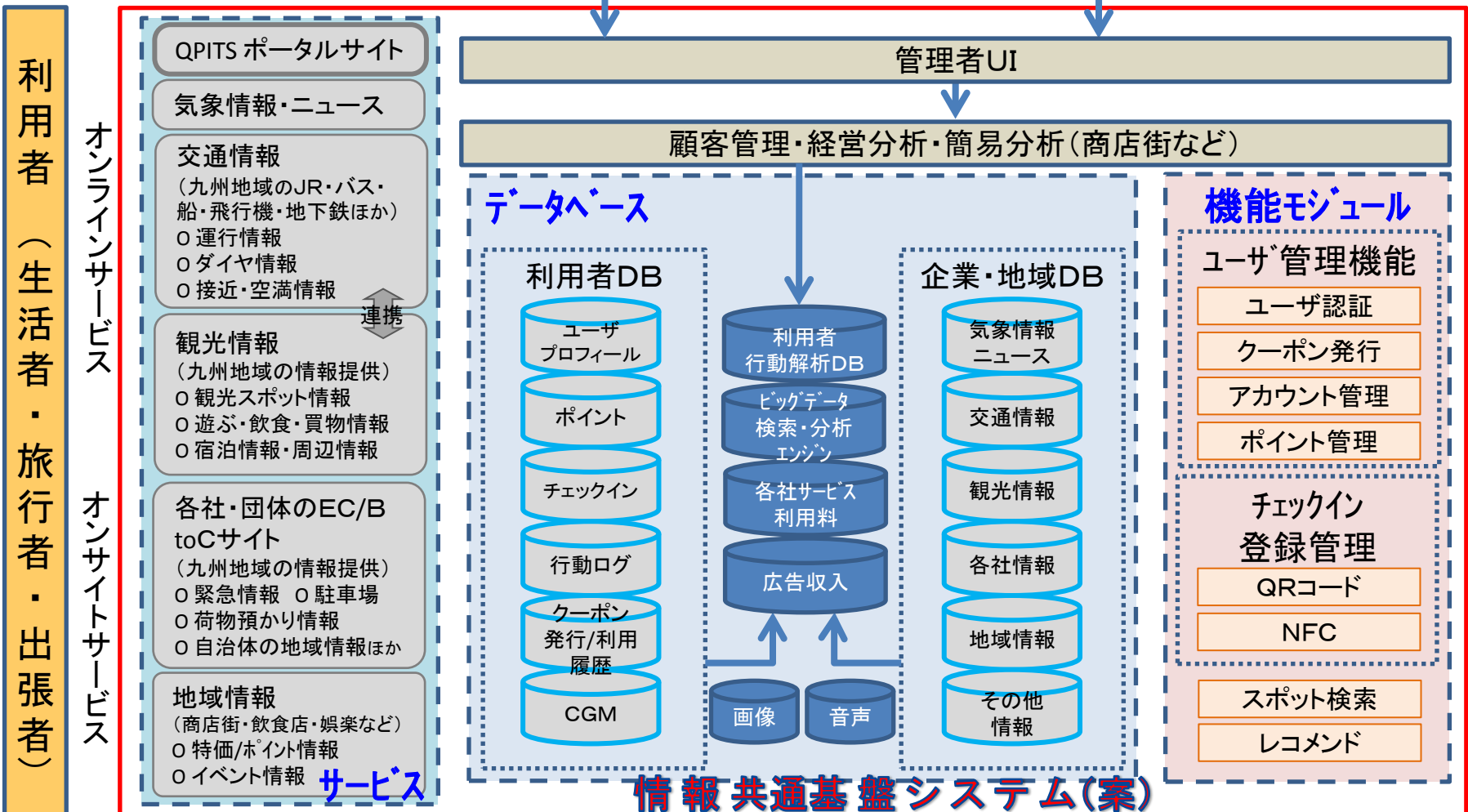
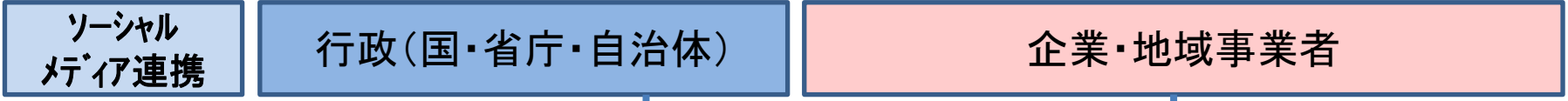
★次世代の持続可能な社会システムを実現するビジネスモデルを構築する。 (ITの新産業/新事業を創出する事が目的)



「九州地域ITS利活用情報基盤」のシステム概要(案)



各社・団体のEC/BtoCサイト
 JR Nishitetsu 九州



サービス運営者



交通・観光・防犯・災害情報

Nishitetsu JR九州 九州電力
よかなびweb rkb
福岡県・佐賀県・長崎県
大分県・熊本県・宮崎県
鹿児島県

先進的な取組み
★情報(各アプリ:コンテンツ)をAPI連携し横串からの利活用
★人の移動・利用情報及び各センサー情報の利活用(ビッグデータ)

各社・団体のEC/BtoCサイト情報
駐車場・百貨店・スーパーマーケット
コンビニ・ホームセンター・専門店
地域商店街・医療・福祉・文教
各企業・団体・ほか

九州ITS利活用研究会 情報基盤

交通コンテンツ 観光コンテンツ 地域コンテンツ 災害情報 ニュース天気

放送波

高速無線

通信と放送の融合

コンテンツ制作ビジネス創出

放送分野
・地デジ情報配信

カーナビ
テレビ(データ放送)
交通サイネージ

防犯・防災分野
・防犯・防災用電子看板
・防犯・防災無線

ホームネットワーク
・子供の在宅確認
・施錠状態確認
・電気機器の遠隔操作

◇人を中心とした新しいITSによるスマート社会づくり
◇地域に密着した情報(コンテンツ)の相互利活用
◇次世代の持続可能なビジネスモデルを創出

環境分野
・産廃情報システム
・太陽光発電監視
・ECO電子看板

EV充電分野
・充電インフラ管理
・EV充電情報配信

外国人観光客誘致

観光分野
・電子看板(多言語)
・Wi-Fiスポット
・外国人観光客誘導
・グリーンツーリズム関連

安全・安心な街づくり

地域経済活性化

地域情報化

医療分野
・遠隔医療
・遠隔介護
・診療予約
・レセプト処理

教育分野
・校務用電子看板
・教育用コンテンツ配信
・児童見守り
・電子教科書

交通分野
・カーナビ情報配信
・電子標識・アナログ標記(看板)
・ITS(高度道路交通システム)
・交通サイネージ

スマートグリッド
・遠隔検針
・遠隔開閉
・電力量表示

地域活性化分野
・地域情報配信(商店街ほか)
・割引クーポン(商店街ほか)
・セカイカメラ

たまちゃん www.tamachan.jp